

在庫スイートクラウド改善コンサルティング
詳細分析パック
在庫管理現状分析レポート

作成日 : 20xx年xx月xx日

作成者 : 株式会社インフュージョン

対象企業名 : _____

1.分析の目的と概要

目的

本レポートは、現地調査およびヒアリング結果をもとに、在庫管理業務の現状を データ・業務フロー・役割分担の3つの観点から詳細に分析し、改善計画策定のための基礎資料として整理したものです。

調査・分析の実施内容

分析観点	実施内容	使用資料・手法
データ分析	在庫データの精度・更新頻度・棚卸差異を検証	棚卸データ、出入庫履歴、マスター情報
業務フロー分析	入出庫・棚卸・発注補充の流れを可視化	現場観察、担当者ヒアリング、ユーザー提供資料
役割分担分析	各担当者の業務負荷・属人化の状況を整理	業務ヒアリング、担当者別タスク表

2-1.データ分析結果

項目	現状	所見
棚卸差異率	約3.8%	定期棚卸は年2回。更新漏れによる誤差が多い。
滞留在庫	全体の18%	一部商品は12ヶ月以上動きなし。
欠品率	約2.5%	発注リードタイムが不安定で一部商品の欠品発生。
入出庫記録	Excel入力	入力タイミングが担当者によって異なる。

考察

- 入庫・出庫・棚卸のデータ入力タイミングが一定でなく、リアルタイム性が欠如している。
- 商品マスターの更新が担当者任せで、棚番重複・誤登録が散見される。
- データの一元化と更新ルールの統一が不可欠。

2-2.業務フロー分析結果①

現行業務フロー（概要）

入庫処理：

発注 → 納品書確認 → 手入力で在庫表更新（Excel） → ラベル貼付 → 保管

出庫処理：

受注伝票 → 手書きピッキングリスト → 出庫 → Excel更新

棚卸：

年2回全品目棚卸（3日間作業） → Excelで照合 → 差異を手入力修正

2-2.業務フロー分析結果②

主な課題

業務領域	現状課題	改善方向
入庫処理	入力タイミングがバラバラ	バーコード運用によるリアルタイム更新
出庫処理	手書き指示書で誤記発生	モバイル端末によるピッキング指示
棚卸	作業負荷が大きく差異多発	部分棚卸+循環棚卸への移行

考察

- 作業単位でExcel依存が強く、工程間の情報連携が遅延。
- 出庫時のヒューマンエラーが在庫差異の主要因。「在庫スイートクラウド」を活用することで、各処理をリアルタイム連携可能。

2-3. 役割分担・運用体制分析結果

役割	担当人数	現状課題	改善方向
倉庫作業担当	3名	入出庫と棚卸を兼務、属人化あり	標準手順化＋操作教育
購買担当	2名	発注・入庫情報の共有遅延	システム連携による情報即時共有
管理者化	1名	日次在庫確認が手作業	ダッシュボード化による可視

考察

- 属人化が強く、作業ミス発生時の原因特定に時間がかかる。
- 教育や引継ぎが個人任せになっており、ルール定着が不十分。
- 標準化と教育体制の整備が改善の鍵。

3.課題構造整理

以下の表は、分析結果をもとに課題を階層構造化したものです。

データの不整備	<ul style="list-style-type: none">• 入出庫入力の遅れ• 棚卸差異修正の属人化• 商品マスター未更新
業務手順の非標準化	<ul style="list-style-type: none">• 手書き作業によるミス• 担当者ごとの独自ルール• 文書化不足
管理体制の脆弱性	<ul style="list-style-type: none">• 教育不足• 責任分担の曖昧さ• モニタリング不在

4.改善方向の提示（概要）

改善テーマ	対応施策	期待効果
データの一元化	在庫スイートクラウド導入によるリアルタイム管理	入在庫データの整合性向上、差異率低減
作業手順の標準化	バーコード運用・標準マニュアル策定	作業効率化・属人化解消
教育・運用定着	操作研修・定期レビュー	現場定着と継続的改善の促進

5.次ステップのご提案

本レポートを踏まえ、次フェーズでは以下の改善計画策定を行います。

次ステップ：改善計画パック（30万円～）

- あるべき業務フローの提示
- 在庫スイートクラウド導入支援
（マスター設計支援、初期設定支援）
- データ連携の仕様整理
（上位システムがある場合）

お問い合わせ先

株式会社インフュージョン
コンサルティング担当
メール：trial@infusion.co.jp